

# 2002年度 決算説明会

2003年5月20日

# 目次

- I .2002年度決算実績
- II .2003年度業績見通し
- III.『中期経営計画(2002年度～2005年度)』  
の進捗状況

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

# I . 2002年度決算実績

# 1. 決算概況

## <連結決算>

(単位:億円)

	01年度	02年度	増減
売上高	13,495	12,246	△ 1,248
営業利益	400	698	297
経常利益	7	413	405
特別損益・税他	△ 1,054	△ 242	812
当期純利益	△ 1,047	170	1,217
利益剰余金残高	△ 1,275	△ 114	1,161
総資産残高	24,334	21,223	△ 3,110

< 单独決算 >

(単位: 億円)

	01年度	02年度	増減
売上高	7,728	7,277	△ 451
営業利益	324	486	162
経常利益	10	292	282
特別損益・税	△ 1,204	△ 173	1,031
当期純利益	△ 1,194	119	1,313

利益剰余金残高	△ 633	503	1,136
---------	-------	-----	-------

総資産残高	16,802	15,818	△ 983
-------	--------	--------	-------

## 2. 売上高・営業利益

<連結>

(単位:億円)

	01年度(*)		02年度		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
鉄鋼	9,385	504	9,603	667	217	162
エンジニアリング	967	1	786	△ 5	△ 181	△ 7
エレクトロニクス・情報サービス	1,696	△ 156	762	△ 8	△ 933	147
その他	1,445	61	1,094	64	△ 351	3
(消去)		(△9)		(△19)		(△9)
合計	13,495	400	12,246	698	△ 1,248	297

(\*) 事業区分変更後

増減の要因

	要因
鉄鋼	販売数量増加により増収、コスト改善及び販売価格改善により増益
エンジニアリング	民間設備投資の減少、公共投資の抑制により減収、減益
エレクトロニクス・情報サービス	シリコン事業の営業譲渡により減収となったが、営業赤字幅は縮小
その他	住友精密が持分法となり減収となったが、営業利益は確保

<単独>

	01年度	02年度	増減
粗鋼生産量(万トﾝ)	979	1,078	99
販売数量(万トﾝ)	922	1,004	82
為替レート(円/ドル)	125	122	△ 3

<単独>

(単位:億円)

	01年度	02年度	増減
	売上高	売上高	売上高
鉄鋼	6,238	6,508	269
エンジニアリング	897	768	△ 128
エレクトロニクス・情報サービス	593	—	△ 593
	7,728	7,277	△ 451

### 3. 単独経常利益増減

01年度→02年度 282億円好転

損益好転要因		損益悪化要因	
	億円		億円
コスト改善	440	為替差	△ 25
シリコン事業	20	原材料価格	△ 40
		販売環境変動他	△ 113
合計	460	合計	△ 178

(参考)

	01年度	02年度	増減
	円/ドル		
為替レート	125	122	3円 円高
	万トン		
販売数量	922	1,004	82
鉄鋼部門平均	千円/T		
販売単価	65.9	64.8	△ 1.1
	価格差	0.6	
	為替差	△ 0.6	
	構成差	△ 1.1	
	計	△ 1.1	←

02/上→02/下 51億円好転

損益好転要因		損益悪化要因	
	億円		億円
コスト改善	45	為替差	△ 10
エンジン季節要因	20	販売環境変動他	△ 4
合計	65	合計	△ 14

(参考)

	02/上	02/下	増減
	円/ドル		
為替レート	123	121	2円 円高
	万トン		
販売数量	495	509	14
鉄鋼部門平均	千円/T		
販売単価	63.9	65.7	1.8
	価格差	2.4	
	為替差	△ 0.4	
	構成差	△ 0.2	
	計	1.8	←

#### 4. 特別損益

<連結>

(単位:億円)

	01年度	02年度
特別修繕引当金取崩益	268	65
事業再編益	—	231
投資有価証券売却益	129	57
固定資産売却益	171	—
シリコンウエーハ事業譲渡益	248	—
その他特別利益	19	7
特別利益計	837	362
退職給付引当金繰入額	△ 247	△ 69
<5年定額償却>	△ 118	△ 69
<在籍人員減に伴う一括処理>	△ 129	—
事業再編損	—	△ 123
投資有価証券売却損	△ 251	△ 59
投資有価証券評価損	△ 171	△ 91
固定資産除却損失等	—	△ 90
構造改革費用	△ 1,215	—
その他特別損失	△ 11	△ 8
特別損失計	△ 1,896	△ 442
特別損益計	△ 1,059	△ 80

## 5. キャッシュフロー

<連結>

(単位:億円)

	01年度	02年度	増減
営業活動(特別退職金を除く) によるキャッシュフロー	1,575	1,847	271
特別退職金	△ 1,391	△ 235	1,155
投資活動によるキャッシュフロー	396	583	186
財務活動によるキャッシュフロー	△ 894	△ 1,649	△ 754
現金及び現金同等物の期末残高	703	1,217	513

## 6. 連結剰余金

(単位:億円)

	01年度	02年度	増減
資本剰余金期首残高	—	1,394	—
第三者割当増資による新株の発行	—	229	—
資本準備金取崩による減少	—	△ 1,016	—
資本剰余金期末残高	—	607	—
利益剰余金期首残高	△ 220	△ 1,275	△ 1,055
当期純利益	△ 1,047	170	1,217
資本準備金取崩による増加	—	1,016	1,016
連結除外等による減少	△ 8	△ 26	△ 18
利益剰余金期末残高	△ 1,275	△ 114	1,161

補足数値

(1) 金融収支 (単位:億円)

<連結>

	01年度	02年度
受取利息・受取配当	54	43
支払利息	△ 281	△ 241
金融収支	△ 226	△ 198

(2) 出向差額 (単位:億円)

<連結>

	01年度	02年度
出向者人件費	△ 181	—
戻入額	71	—
出向差額	△ 110	—

(単位:億円)

<単独>

	01年度	02年度
受取利息・受取配当	61	56
支払利息	△ 176	△ 158
金融収支	△ 114	△ 101

(単位:億円)

<単独>

	01年度	02年度
出向者人件費	△ 292	—
戻入額	189	—
出向差額	△ 103	—

(3) 設備投資・減価償却費(有形固定資産)

<連結>

(検収ベース、億円)

		01年度	02年度
設備投資 A	鉄鋼事業	518	464
	非鉄鋼事業	228	45
	合計	746	509
減価償却費 B		1,211	917
B-A		465	408

<単独>

		01年度	02年度
設備投資 A	鉄鋼事業	291	288
	非鉄鋼事業	100	—
	合計	391	288
減価償却費 B		727	589
B-A		336	301

#### (4)鉄鋼事業売上

<連結>

カンパニー別売上金額

(単位:億円)

カンパニー	02年度
鋼板・建材	5,375
鋼管	2,336
交通産機品	664

<単独>

カンパニー別売上数量・金額

(単位:万トン、億円)

カンパニー	02年度	
	数量	金額
鋼板・建材	842	4,329
鋼管	147	1,645
交通産機品	16	533

## 鉄鋼事業

< 単独 >

国内・輸出別売上

(単位:万トン、億円)

	02年度	
	数量	金額
国内	576	3,989
輸出	428	2,519
合計	1,004	6,508

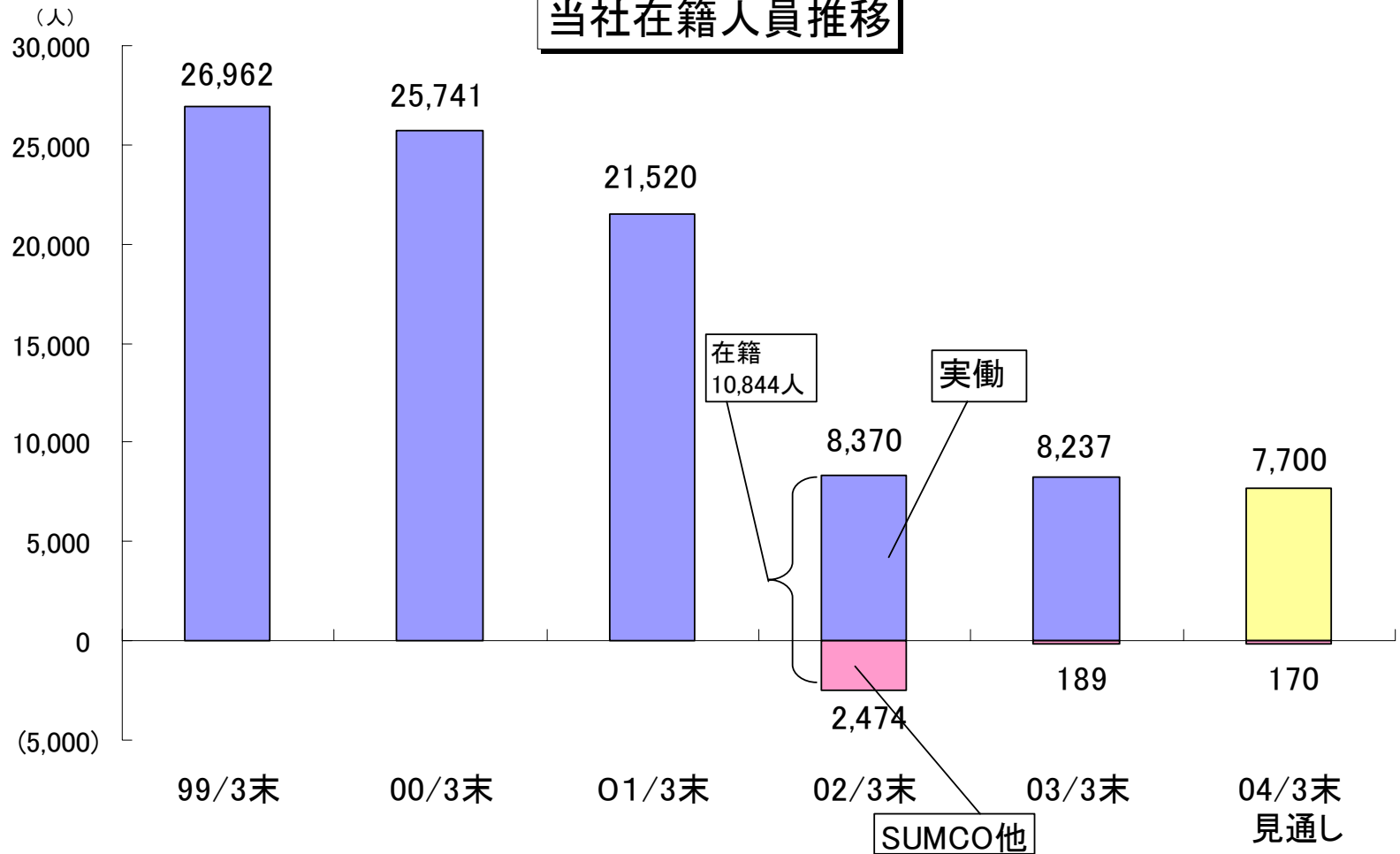
< 単独 >

輸出向先別比率

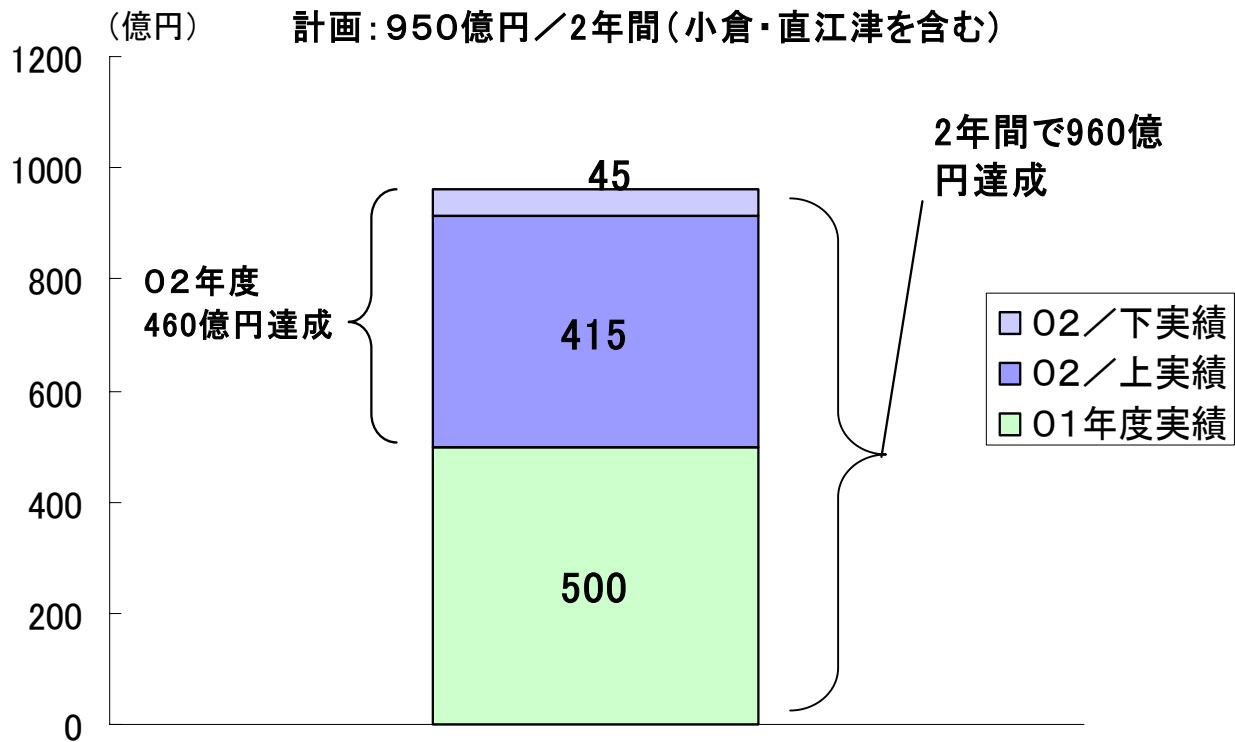
(単位:%、金額ベース)

	02年度
アジア	67
北米	11
中近東	9
EU	3
他	10

# 当社在籍人員推移



# コスト合理化



## Ⅱ. 2003年度業績見通し

## 1. 03年度業績見通し

前提		02年度 実績	03年度 見通し
為替レート	円／ <sup>ドル</sup>	122	115
全国粗鋼	百万 <sup>トン</sup>	109.8	104程度
(当社グループ粗鋼) (*)	(万 <sup>トン</sup> )	(1,218)	(1,190程度)
当社粗鋼生産量	万 <sup>トン</sup>	1,078	890程度

(\*) 小倉、直江津、住金鋼鉄和歌山を含む)

為替バランス (単位: 億ドル/年)

(ドル受取超過) 単独	11
グループ	0
連結	11

<連結>

	02年度 実績	03年度見通し	
		03/上見通し	
売上高	12,246	5,200	10,800
営業利益	698	340	820
経常利益	413	210	550
特別損益・税他	△ 242	△ 160	△ 370
当期純利益	170	50	180

(単位:億円)

対前期
△ 1,446
122
137
△ 128
10

<単独>

	02年度 実績	03年度見通し	
		03/上見通し	
売上高	7,277	3,400	6,800
営業利益	486	300	620
経常利益	292	210	430
特別損益・税	△ 173	△ 100	△ 210
当期純利益	119	110	220

対前期
△ 477
134
138
△ 37
101

<連結>

(単位:億円)

	02年度 実績		03年度見通し				対前期	
	売上高	営業利益	03/上見通し		売上高	営業利益	売上高	営業利益
鉄鋼	9,603	667	4,550	360	9,200	810	△400程度	140程度
エンジニアリング	786	△5	250	△20	700	△10	△90程度	ほぼ横這い
エレクトロニクス・情報サービス	762	△8	250	0	500	0	△260程度	ほぼ横這い
その他	1,094	64	150	0	400	20	△700程度	△40程度
(消去)		(△19)						(19)
合計	12,246	698	5,200	340	10,800	820	△1,446	122

### 3. 単独経常利益増減

02年度→03年度 138億円好転 (292億円→430億円)

損益好転要因		損益悪化要因	
	億円		億円
コスト改善	140	為替差	△ 80
販売環境変動他	108	原材料価格	△ 30
合計	248	合計	△ 110

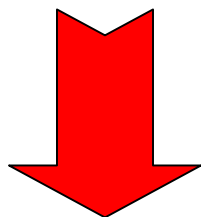
02/下→03/上 38億円好転 (171億円→210億円)

損益好転要因		損益悪化要因	
	億円		億円
コスト改善	30	エンジン季節要因	△ 15
販売環境変動他	73	為替差	△ 35
		原材料価格	△ 15
合計	103	合計	△ 65

# Ⅲ. 『中期経営計画(2002年度～2005年度)』 の進捗状況

# 鉄鋼事業の抜本的な構造改革と競争力強化

中国鋼鐵(CSC)及び住友商事と  
和歌山製鉄所上工程合弁事業契約を締結  
(03年5月)



和歌山製鉄所上工程の  
フル操業体制を確立

# 合併事業の形態

当社

住友商事

中國鋼鐵(CSC)

出資比率 62%

5%

33%

(持株会社) 東アジア連合鋼鐵

設立 03年7月  
総資産303億円、資本 303億円

100%

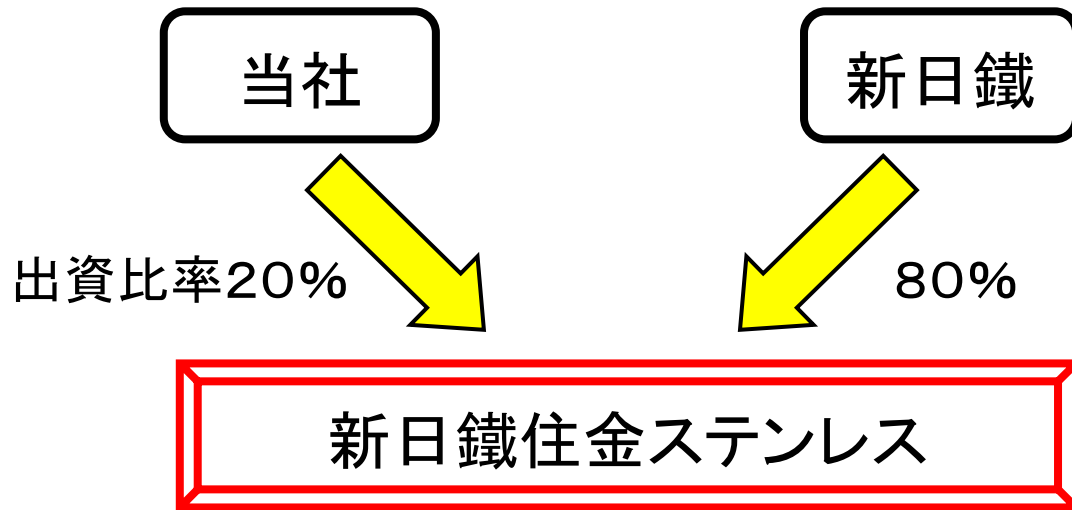
住金鋼鐵和歌山

設立 03年11月  
総資産900億円、資本 303億円

ピレット・スラブ  
等供給

スラブ供給  
2005年4月以降  
180万トン/年  
供給先は燐隆

# 新日鐵と両社ステンレス事業を統合(03年10月)



設立	03年10月
売上高	1,500億円/年程度
生産規模	100万トン/年程度

## 統合対象品種：

(当社) ステンレス薄板、ステンレス厚板

＜ステンレス鋼管、住金小倉のステンレス棒鋼、住金直江津のステンレス  
特品は対象外＞

(新日鐵) ステンレス薄板、ステンレス厚板、ステンレス棒線、及びステンレス鋼片

＜ステンレス鋼管は対象外＞

# 財務基盤の強化

## 財務体質の早期改善

第三者割当増資を実施  
471億円(03年1月)

## グループ事業の選択と集中

(事業譲渡)

L-SE、住金ケミカル、

住友金属システムソリューションズ、小倉興産等

(株式交換による完全子会社化)

関東特殊製鋼

《 連結対象会社数の推移 》

(01年3月末)

(02年3月末)

(03年3月末)

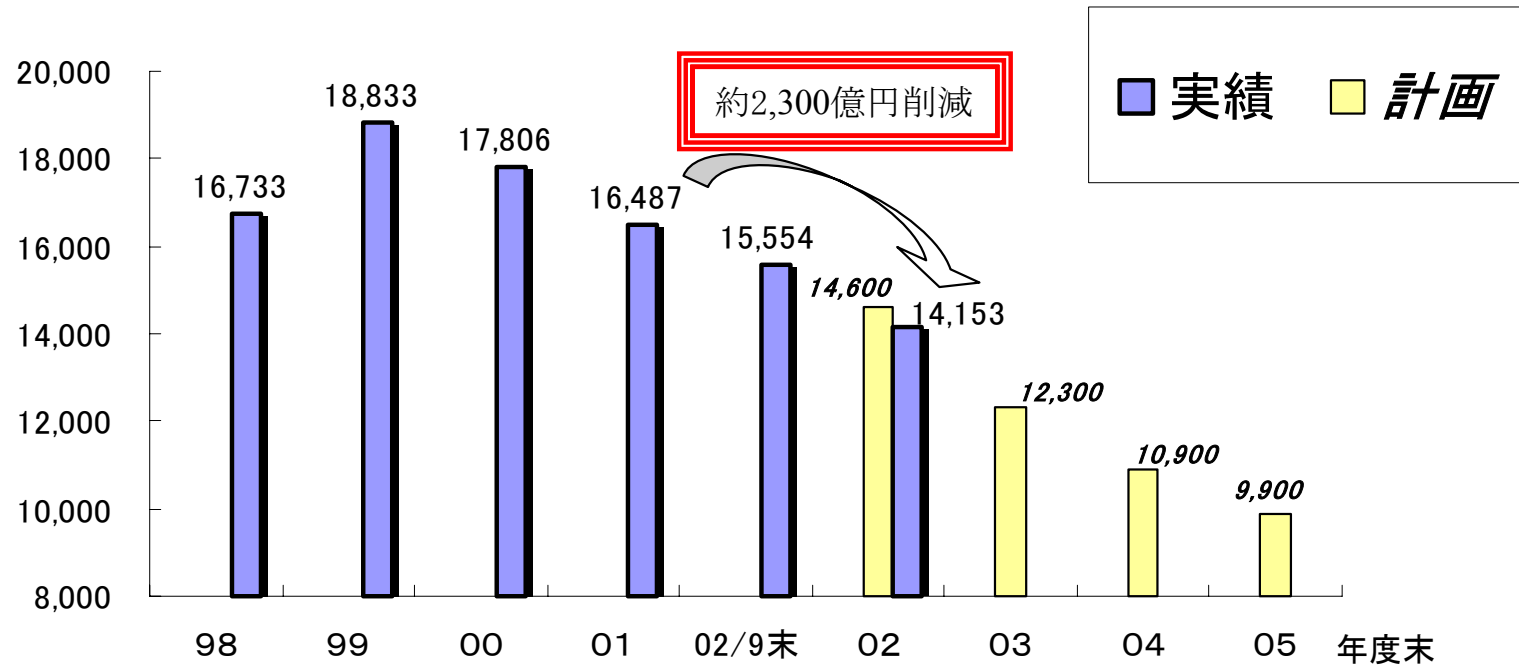
144社

126社

107社

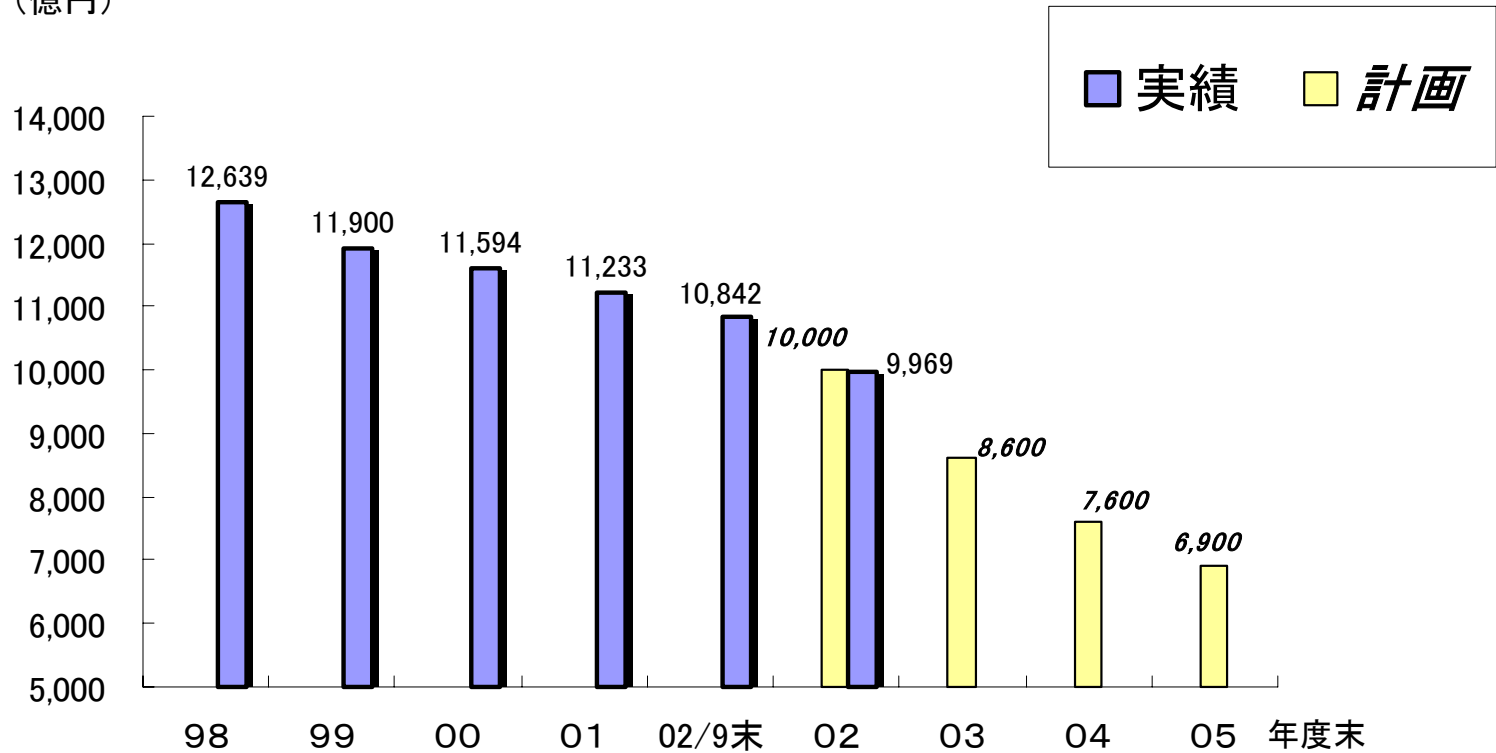
# 連結借入金残高

(億円)

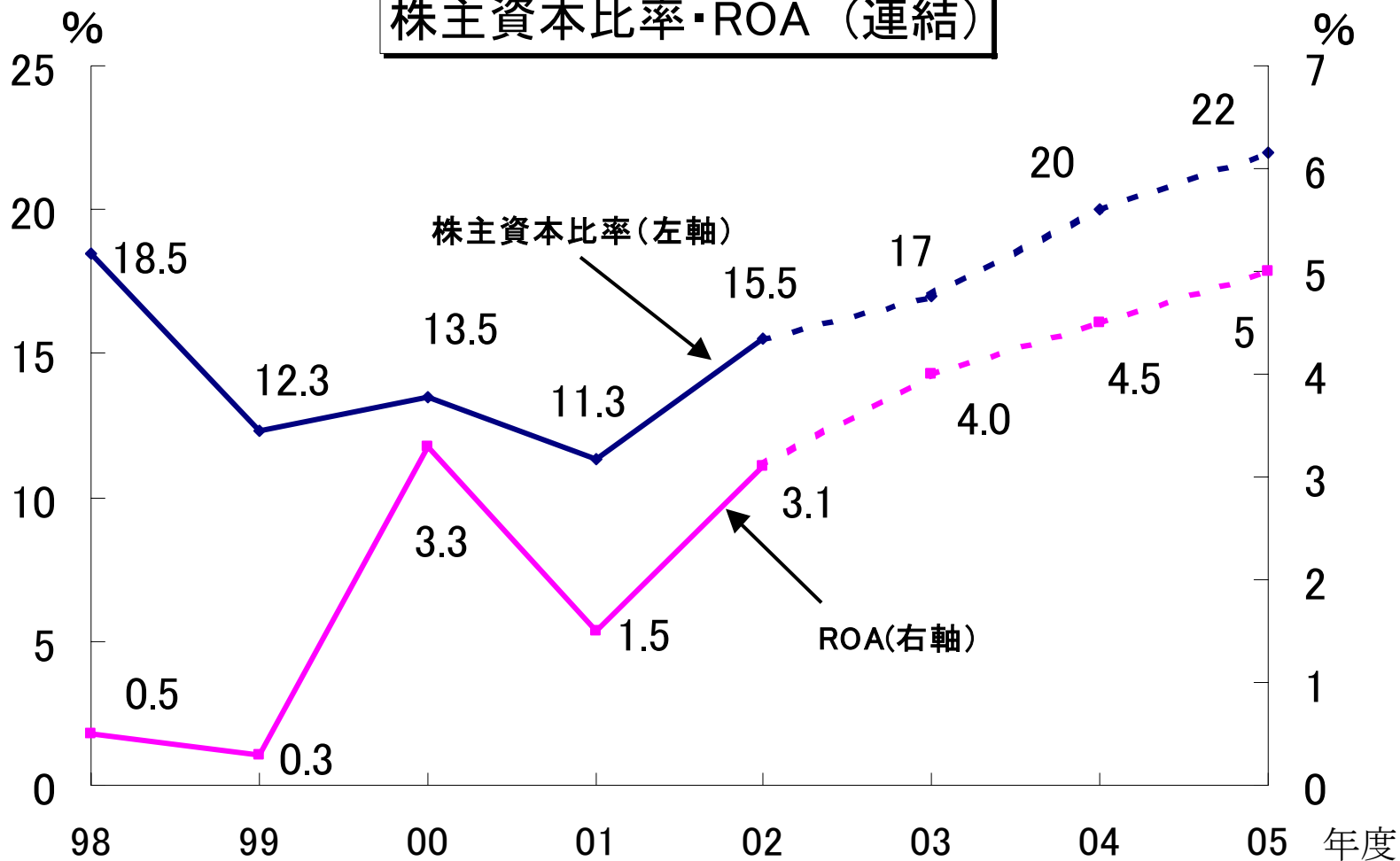


# 单独借入金残高

(億円)



株主資本比率・ROA（連結）



# 財務目標の達成状況

<連結>

	01年度	02年度	03年度見通し
売上高	13,496	12,246	10,800
営業利益	400	698	820
総資産営業利益率(ROA)	1.5%	<b>3.1%</b>	<u>4.0%</u>
経常利益	7	413	550
総資産	24,334	21,223	20,000
借入残高	16,487	<b>14,153</b>	<u>12,300</u>
株主資本	2,744	3,287	3,400
株主資本比率	11.3%	<b>15.5%</b>	<u>17%</u>
D/Eレシオ	6.0倍	4.3倍	3.6倍

## 中期経営計画

(単位:億円)

04年度	05年度
	10,000
	940
	<b>5%</b>
	700
	18,500
<b>10,900</b>	<b>9,900</b>
3,750	4,150
<b>20%</b>	<b>22%</b>
3倍以下	2.4倍

〔 全国粗鋼95百万トン  
115円/トン 〕

中期経営計画

<単独>

(単位:億円)

	01年度	02年度	03年度見通し
売上高	7,728	7,277	6,800
営業利益	324	486	620
総資産営業利益率(ROA)	1.8%	<b>3.0%</b>	<u>4.0%</u>
経常利益	10	292	430
総資産	16,802	15,818	14,900
借入残高	11,233	<b>9,969</b>	<u>8,600</u>
株主資本	3,153	3,719	3,870
株主資本比率	18.8%	<b>23.5%</b>	<u>26%</u>
D/Eレシオ	3.6倍	2.7倍	2.2倍

04年度	05年度
	6,200
	700
	<b>5%</b>
	500
	13,800
<b>7,600</b>	<b>6,900</b>
4,100	4,320
<b>29%</b>	<b>31%</b>
2倍以下	1.6倍

# 顧客評価No. 1の実現に向けて

最近の顧客からの表彰・評価の実績

受賞年月	顧客	賞名	評価対象内容	当社対象部門
02/4	松下電器産業	感謝状	IH炊飯器用銅メッキクラッド材の開発	住友金属直江津
02/4	GM	01年度サプライヤー・オブ・ザ・イヤー(2年連続)	品質・サービス・技術・価格の総合力	薄板
03/1	スズキ	02年度総合金賞(2年連続)		薄板
03/2	トヨタ自動車	02年度品質管理優良賞(2年連続)		薄板
03/3	東日本旅客鉄道	感謝状	東北新幹線八戸延伸(「はやて」)における車両動揺防止装置「アクティブサスペンション」の開発	交通産機品
03/3	日野自動車	02年度技術開発優良賞	デザインインによる軽量化次世代フロントアクスルビームの共同開発	交通産機品
03/3	米国トヨタ	02年度社長賞	VE・VA並びに納期	ICI(交通産機品)
03/3	米国ホンダ	02年度社長賞	納期、生産性改善	ICI(交通産機品)
03/4	マツダ	02年度VE・VA提案最優秀賞(2年連続)		薄板
03/5	富士重工業	02年度品質優秀賞		薄板